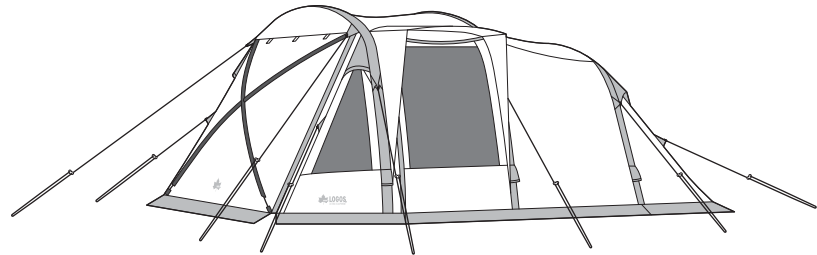


LOGOS
OUTING EQUIPMENT

エアマジック
PANELトンネルドーム XL

No.71201051

● 設営・取扱説明書 当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。

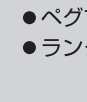


部品構成表	フライシート×1	インナーテント×1	パネルフレーム×2 (7001アルミ)	リッジフレーム×1 (グラスファイバー) コの字型	エアポンプ×1
	キャンピーポール×2 (スチール)	ペグ	ロープ(長)×2 車体連結用・5M	ロープ(短)×2 キャンピー用・3.5M	ロープ(装着済み)×14



注意

- テント内では、絶対に火気を使用しない。(火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ)
- 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。(けがや破損のおそれ)
- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)



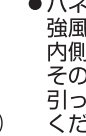
注意

- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)



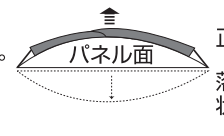
上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のペグはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。
- エアポンプは立てた状態で保管してください。(寝かせた状態で長期間放置すると、内部のグリースが外に漏れ出て生地などを汚損するおそれ)



注意

- パネル面について
強風時や上下に開閉する際、
内側に落ち込むことがあります。
その場合、フレーム交差部を
引っ張り、正常な向きに戻して
ください。



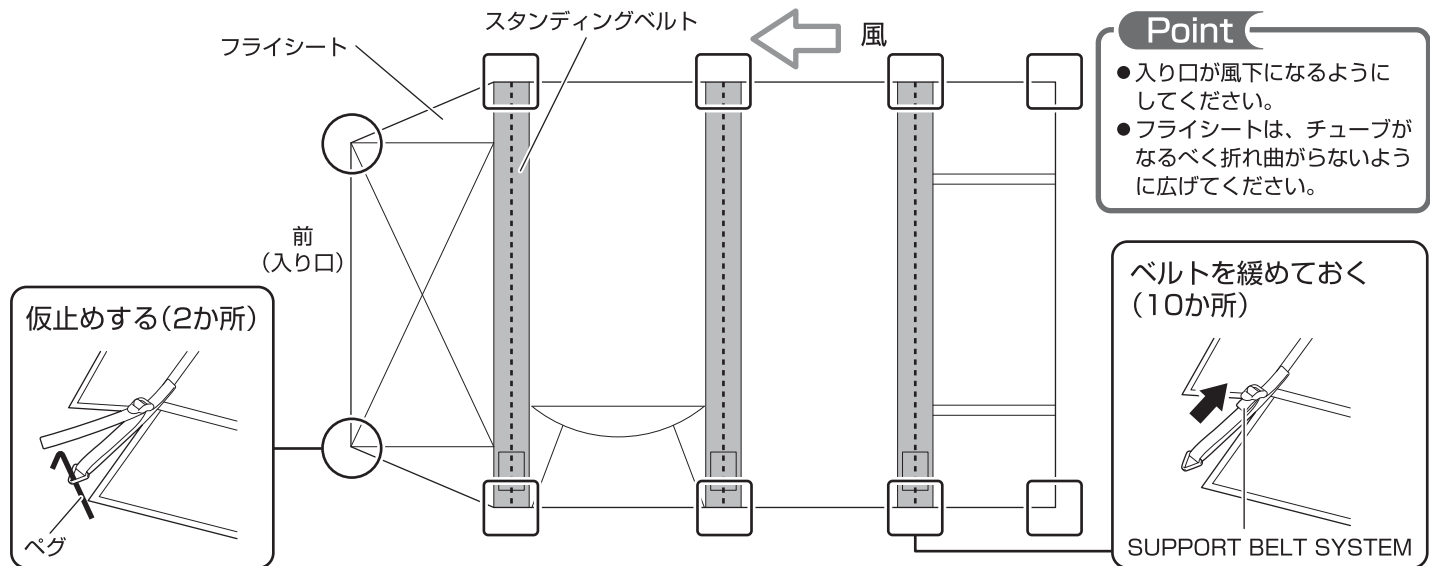
パネル面

正常な状態
落ち込んだ
状態

● 設営方法 ● 設営は2人以上で行ってください。 ● 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

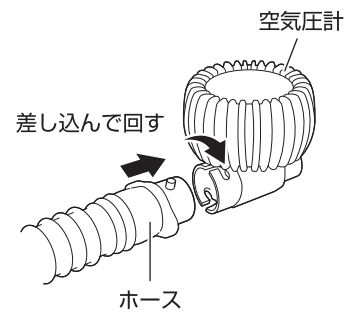
1 フライシートを広げて、ペグで仮留めする

- スタンディングベルトを留める。(3か所)
- ペグは2か所打ち込む。

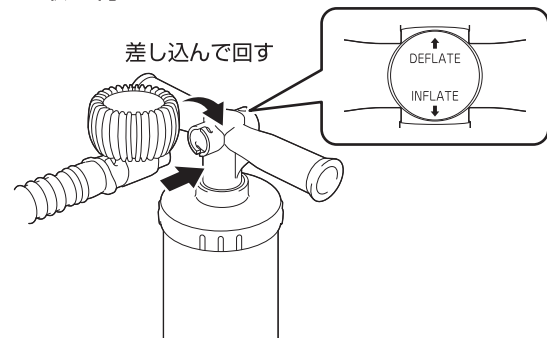


2 エアポンプを組み立てる

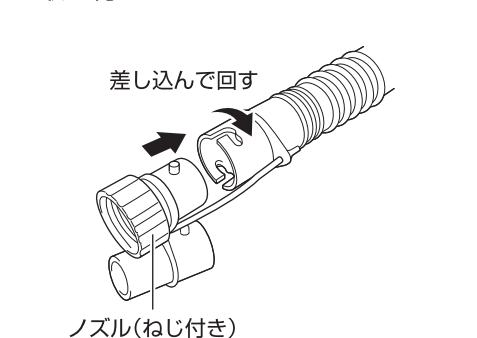
① 空気圧計とホースを
接続する



② 「INFLATE」側にホースを
取り付け



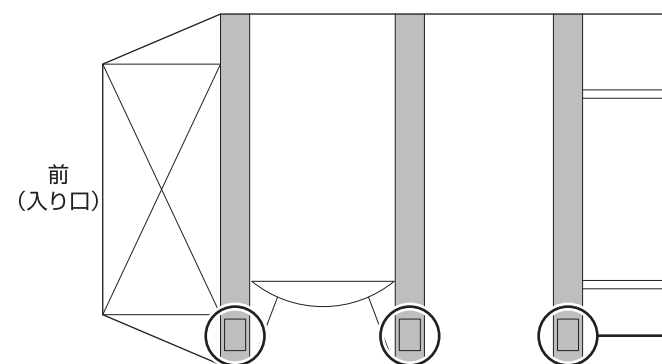
③ ホースの先端にノズル(ねじ付き)
を取り付ける



※ 空気を注入するときは、必ず「INFLATE」側にホースを取り付けてください。
テントのバルブには空気弁があるため、「DEFLATE」側にホースを取り付けても、テントの空気は抜けません。

3 エアポンプでチューブに空気を送り込む

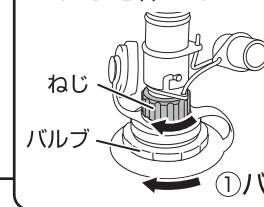
- 前(入り口)から順に空気を入れる。(3か所)



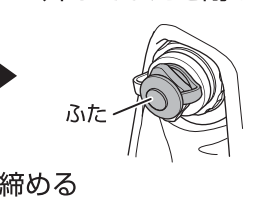
Point

- チューブが折れないように注意してください。
(空気がうまく送り込まれないため)
- チューブが9割ほど膨らんだら、指でチューブを押して空気の入り具合を
確認してください。指で押すことができなくなったら注入完了です。
- 適正psi値は8~9psiです。(気象状況や標高によって適正值は異なります。
あくまで目安としてください)

② ノズルを差し込んで
ねじを締める



③ 空気を入れたらノズルを
外してふたを閉める



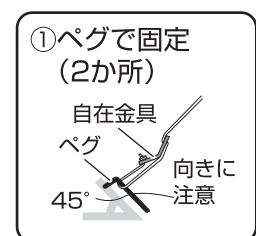


注意

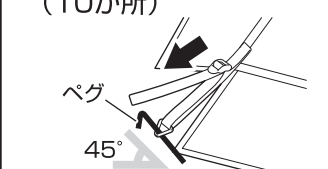
- 気温が30度を超える場合は、エアチューブへ空気を入れ過ぎないように注意する。
(高温で内部が膨張して破裂するおそれ)
- ※ 気温の上昇が予想される場合は、テントが自立したら注入をやめるなどして
調整してください。

4 フライシートを持ち上げながら、ペグで固定する

- ペグは24か所打ち込む。
- 前(入り口)から順に、たるみがないように固定していく。



② ペグで固定し、ベルトを締める
(10か所)



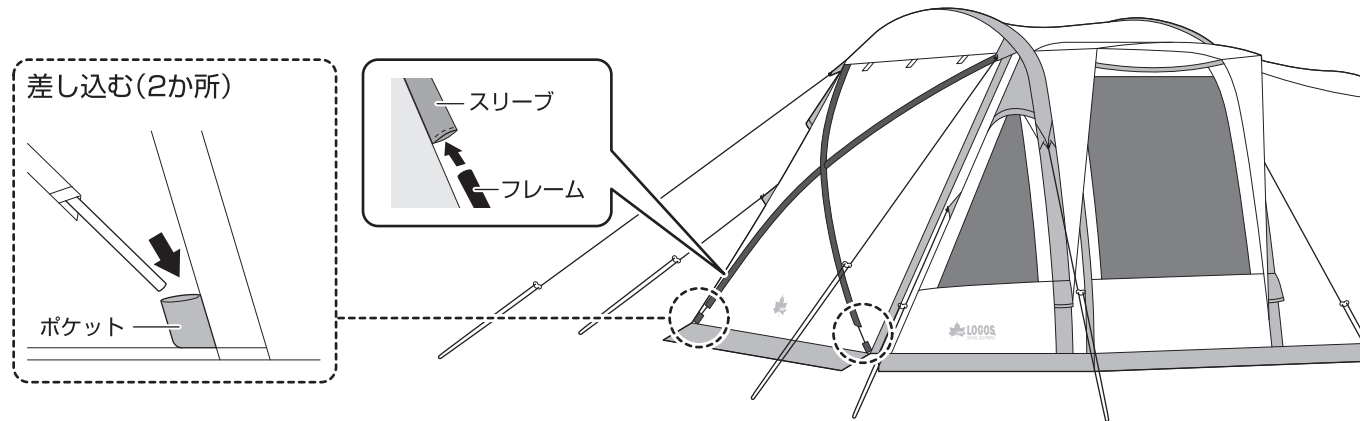
※ 撤収時は再度ベルトを緩めてください。

③ ペグで固定
(12か所)

続きは裏面をご覧ください。

5 パネルフレームをスリーブに通す

- パネルフレームを連結して組み立てる。(2本)
- パネル面を開け、パネル面を少し持ち上げて行う。
- パネルフレームは、スリーブの奥まで確実に差し込む。

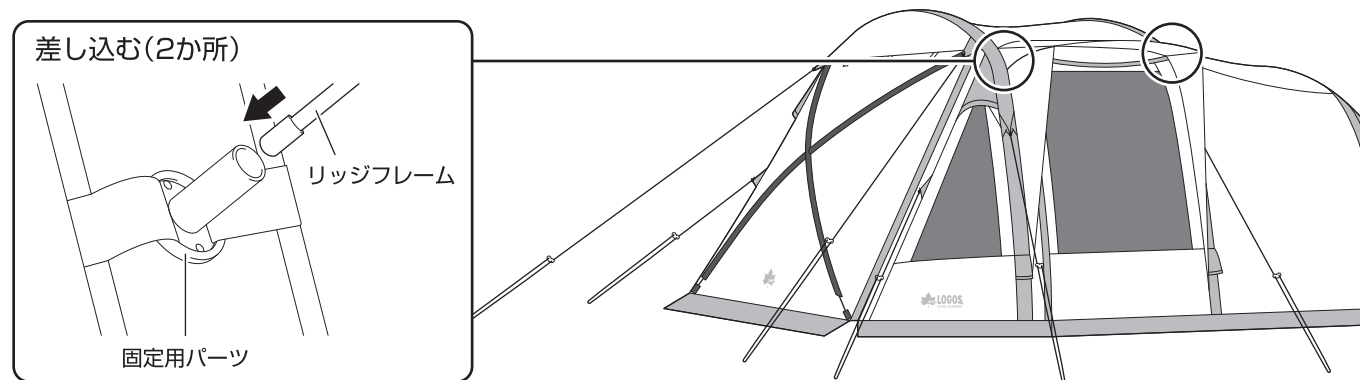


※パネル面を巻き上げる場合

パネル面のX字に取り付けたフレームを外し当面を巻き上げて、上部のトグルで結束してください。

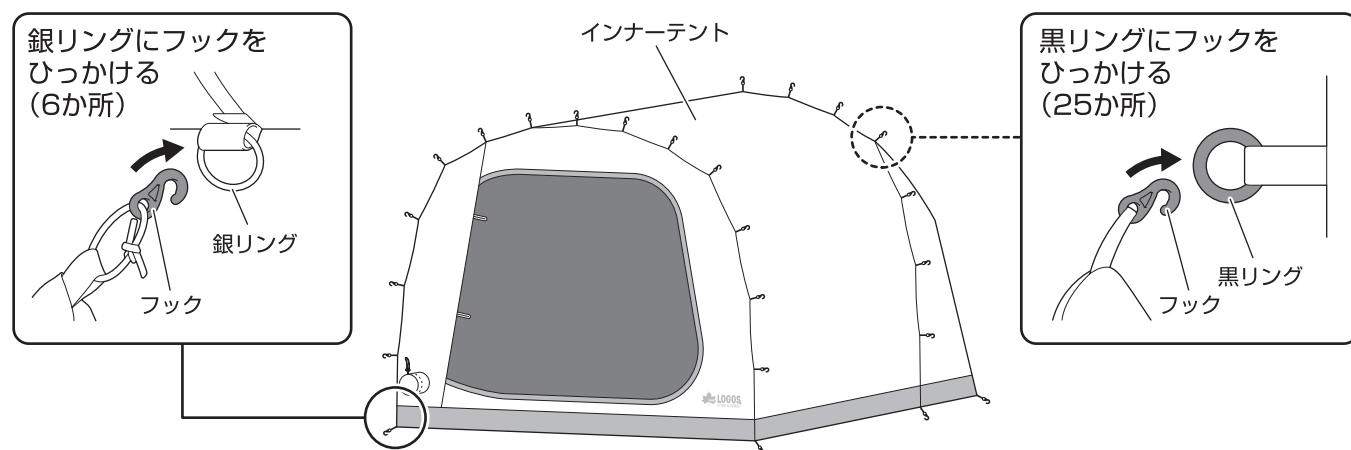
6 リッジフレームを取り付ける

- リッジフレームを連結して組み立てる。(1本)
- フレームをスリーブに通し、両端を固定用パーツに差し込む。



7 インナーテントを吊り下げる

- 入り口をリビング側に向ける。
- 奥から手前の順で固定する。

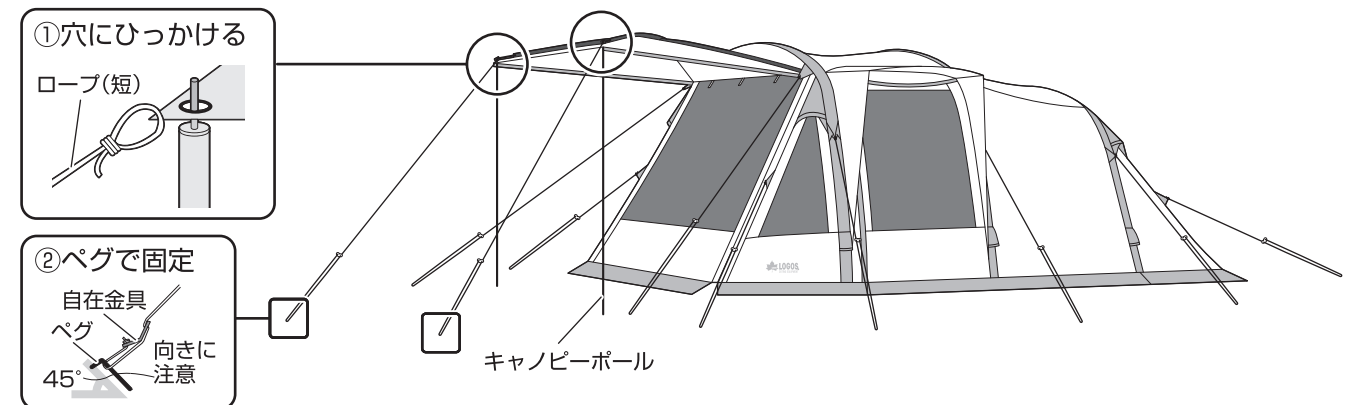


■ スタンディングベルトについて

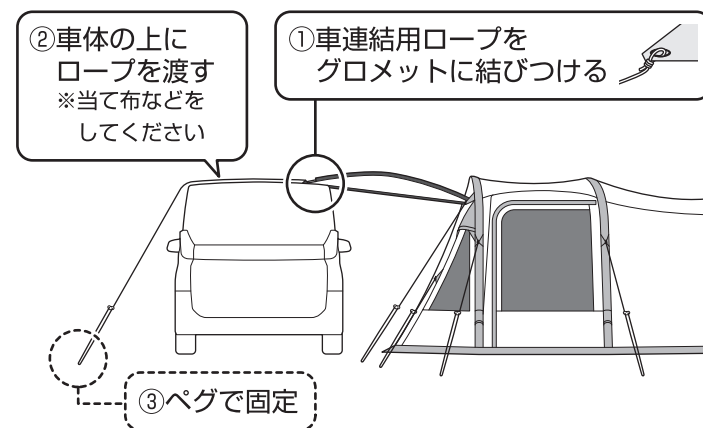
- 設営完了後、スタンディングベルトは取り外すことができます。
- 撤収する際は、ペグや空気を抜く前にすべてのスタンディングベルトを取り付け直してください。(テントが正常に立たないため)

■ 入り口の固定のしかた

【キャンピーポールを使用する場合】



【車と連結する場合】

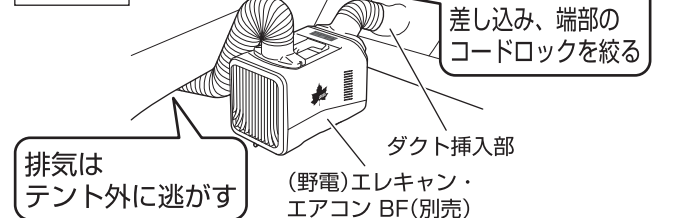


※ロープと車体の間に当て布をするなどの対策を施してください。
車体連結時の車体への破損事故については補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ インナーテントのダクト挿入部について

- 別売または市販のポータブルエアコンを使用する際、ダクト挿入部に送風ダクトを差し込むことで、効率よくインナーテント内に風を送ることができます。

使用例



撤収方法

①フレームを外す

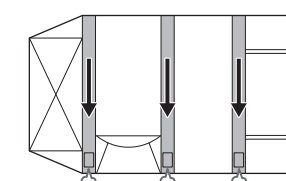
- ②バルブをゆるめて空気を抜く
(一気にゆるめると大きな音が出ます)



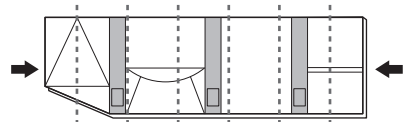
●勢いよく空気が出るためバルブに顔を近づけない。(けがのおそれ)

③ペグを抜く

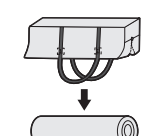
- ④バルブ側に向かって端からチューブを巻き、チューブに残った空気を抜く(3か所)



- ⑤シートを広げて、収納バッグの幅に合わせて折る



⑥収納バッグをかぶせる



- ⑦エアポンプからホースを取り外して、収納バッグに入れる

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- アルミフレームは、素材の特性上、設営に伴って多少の曲がり癖が発生します。曲げ戻しをすると金属疲労により折れる可能性があるため、そのままの状態でご使用いただいても問題ありません。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶



Designed by

LOGOS CORPORATION

発売元

株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13

お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ/ www.logos.ne.jp

■全国キャンプ場の空き情報/ www.campjo.com

2026/06 HT